

特定非営利活動法人電子自治体アドバイザー・クラブ

令和7年6月19日 臨時理事会議事録

1. 日時：令和7年6月19日（土）11:25～12:10
2. 場所：e-AAC 秋篠事務所
3. 出席者：e-AAC 秋篠事務所：理事：多田充朗、吉川和美、藤村茂、中野成能、吉長広
Zoom 参加：理事：西本進、田中伸和、田中眞澄、前田忠信、監事：前川治治
委任状：中西久夫
4. 議題
別紙「令和7年度臨時理事会」（以下、添付資料）に基づき、理事会各メンバーの了承を得る。
 - 1, 理事長の選出について
 - 2, 資産の活用について(「在宅業務補助費」の支給)
5. 議事の経過と概要及び議決の結果
 - (1) 開会
規定に基づき多田理事が議長となり、特定非営活動法人電子自治体アドバイザー・クラブの臨時理事会を開催、議事進行を行った。
 - (2) 出席者報告
本日の出席者は事務所出席：理事5名、Zoom 参加：理事4名、委任状：理事1名、監事：1名の計11名で、本会の成立要件を満たしているとの報告があった。
 - (3) 議事録署名人
議事録作成を吉長広氏に、議事録署名人を藤村茂氏と中野成能氏にお願いしたい旨を諮り、全会一致で同意を得た。
 - (4) 議事審議
 1. 理事長の選出について
自薦による理事長の立候補がなかったため、他薦により、多田充朗氏が推され、全会一致で同意を得、多田充朗氏が理事長に再任されたことが承諾された。
 2. 資産の活用について(「在宅業務補助費」の支給)
 - ① 理事長より添付資料に基づき、在宅業務補助費を出したいとの提案があった。
特に現在、会員数が減り、会員には高齢者が多くなり、モチベーションを維持するためにも、支給したい。

- ② この在宅業務補助費は一時的なものか？
→ 一時的なもの。単年度ごとで、決めていけば良いと考えている。
- ③ 会員数を増やすという目的では、新入会員を勧誘で、お金を出すことを考えては？
→ 会員数だけの問題ではない。モチベーションを上げる目的。
- ④ 公的な機関に会計報告する時、この補助金を出したということで問題はないのか？
→ 問題ないとする。
- ⑤ 補助金を出すのは全会員か？
→ 参加している会員に対して出す。1回でも活動した会員が対象と考える。
ばらつきがあるかも知れないが、国でも一律で支援金を出そうとしている。
- ⑥ 今後、講座が減っていく方向になり、単年度で、赤字になる可能性があるので、補助金については、考慮したほうが良いのでは？
→ 赤字とは別の問題。赤字は出さないように努力すること。結果として、赤字になることはあっても、赤字の経営計画はあり得ない。
- ⑦ 「活動している会員」とはどのように考えるのか？
何も準備しないサポータは対象外とすべきではないか？
戦略会議に出席している会員を対象としてはどうか？
→ 対象となる会員についても理事長に一任してほしい。
最終的に理事長に一任することで承認された。

以上をもって議事全部を終了し、12:10に閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和7年6月19日

議長：_____

議事録署名人：_____

議事録署名人：_____